

埼玉県小学生バレーボール連盟大会運営ガイドライン  
《競技方法について》改訂版

【地区予選監督会議について】

- 地区予選大会監督会議の会場の選定にあたっては、ソーシャルディスタンス（概ね2メートル）を確保できるような会場を選定する。
- 各チーム参加者は1名とし、代表者またはベンチスタッフが望ましい。
- 参加者は「監督会議出欠届」に、氏名・住所・連絡先を記入し、受付時に提出する。  
なお、代理出席の場合は、「代理出席届」に必要事項を記入し提出する。
- 参加者は、会議日の2週間前から当日まで健康チェックを行い、自分の状態を確認し、「健康チェックシート」を提出する。
- 参加者は、必ずマスクを着用し、会場入口で手指消毒を行い、受付の役員は手袋・フェイスガード等により、感染の防止対策を図る。（参加者全員）
- 参加費は、チーム名を記入した封筒に入れて提出する。（釣銭がないようにする。）

【予選競技方法および抽選方法について】

- 1次・2次予選ともに3チームリーグ戦を基本とし、4チームのブロックの場合は、トーナメント戦とし、各チーム2試合を行う。
- 抽選シード権については、各種大会開催要項に準じて行う。
- 1次・2次予選の抽選方法については、予備抽選は行わず抽選順は、抽選シードチーム、試合会場が取れるチームを先行して行う。
- 抽選棒を持つ競技委員は手袋を着用し、チーム参加者は抽選棒には直接触れずに指で差し、その棒を競技委員が代わりに引き、チーム参加者に確認してもらう。
- 抽選後、ブロックに分かれて日程等話し合いを行う際は、密にならないようお互いの距離をとって行う。

【地区予選大会について】

- 会場内の人員を少数とするため、参加チームは、試合に出ない選手の同行は避け、引率する保護者等については選手の数を超えることのないようにする。  
※試合会場によっては、人数制限をする場合があります。
- 選手・ベンチスタッフ・保護者、会場にいる全員マスクを着用する。
- 集合時・解散時ともにチーム同士のあいさつは行わない。
- 開会式・閉会式は行わず、監督会議のみ行う。
- 試合前の練習については、コート内には2チームを限度として、時間を区切り順番に練習を行う。その際、登録メンバー以外は、コート内には入れない。
- 応援スペースでは密にならないよう間隔をとって応援する。その際、メガホン等道具の使用は禁止とし、大きな声での応援はしない。
- 体育館内の換気を第一に考慮し、試合中も暗幕はせず十分な換気を行う。
- 会場責任者は、競技器具（フラッグ・モップ等）やベンチ・審判台・記録席について、試合ごとに消毒を行う。（※ベンチはセット間も消毒を行う。）
- 試合間は10分以内とするが、全試合が午後13時までに終了するよう調整する。
- 昼食はとらず、試合終了後直ちに解散とする。